

自分のやりたいこと、夢がかなえられる場所がここにある

R・H

茨城大学 人文社会学部 現代社会学科 進学
ひたちなか市立 田彦中学校 卒業

茨高の授業の進度は他校より若干早いですが、高校1・2年の間にしっかり基礎を培い、そこから高校3年で共通テストや2次試験に向けて力を伸ばすことのできるカリキュラムが組まれているため、心配することは特にありませんでした。苦手な科目等があれば課外をとって補填することが出来ます。課外は高校1年生から3年生になるにつれて内容がより細分化されていくため、合格をつかみ取るために必要なものをピンポイントで補うことができました。他の私立高校と違って課外への費用が掛からない(一部の教材費がかかる場合を除く)ので、自分の望むまま、スケジュールが合う限り取ることが可能でした。課外以外では、勉強の中で質問などがあるときに、どの学年の先生にも垣根なく質問しに行くことができる点が茨高の魅力だと思います。教材として取り入れているオンライン英会話では、外国人の講師の先生との英語でやり取りを通して自分の英語力を磨くことができました。特に、コロナウイルスの影響によって休校になった期間には、一日も欠かさずにオンライン英会話に取り組むことで、自分の勉強に対する姿勢を崩すことなく過ごすことができました。講師の先生はとても親切でフレンドリーな方が多いので、話しているうちに英語を話すことが楽しくなると思います。また、授業の予約をするときに前もってお願いをしておくと、英検のスピーキング対策やリスニング対策もしていただくことができたりするので、カスタマイズ次第できっとオンライン英会話は「あなただけの英語教師」になってくれるでしょう。

所属していた吹奏楽部では、在籍期間にコンクールやアンサンブルコンテストなどで多くの優秀な成績を残すことができました。新型コロナウイルスの影響を受けて部活動も制限されてしまいましたが、それ以前では伝統ある茨高吹奏楽部だからこそ呼んでいただけるイベントも数多くあり、貴重な演奏する機会に恵まれていたと思います。また、吹奏楽部などの一部の部活動は茨中の部員と共に活動するため、6学年という広い学年層の中活動できます。同級生や先輩とはもちろん、年の離れた部員と協働できるという経験は、思ったよりも新鮮に感じられると思います。

私が茨高を知ったきっかけは、中学校の吹奏楽部に所属していた時にコンサートで聴いた茨高吹奏楽部の演奏でした。中学3年生の春、漠然と高校進学について考えていた時に聴いた「富士山」に一瞬で心が奪われたのを今でも覚えています。県内で指折りの吹奏楽部強豪校であり、且つ大学進学を目標に捉えた勉強をすることができる環境がある茨高なら、自分のやりたいこと、夢がかなえられる場所だと思い、進学を決めました。高入生にとって、一貫生とは部活動等で接点がない限り、高校3年生で混合クラス編成になる際初めて関わりを持つこととなります。前述の通り、私は吹奏楽部に所属していましたが、同じクラスになった一貫生の人たちとは4月当初ほとんどが面識ないため、仲良くしていけるかとても心配でした。しかしながらそれは杞憂に終わりました。茨高は前期に文化祭があるのですが一貫生・高入生の隔たりなくクラス全体で協力し、一つの作品を作り上げる、という大きな目標に向かうことができました。それが達成された後は、ほとんど壁を感じることはないほどにまで打ち解けることができたのです。大学受験という大きな試練を乗り越えた仲間、同窓会などでまた全員で集まれたらいいな、と卒業した今思います。

これから進学する大学ではメディア関係について専攻するつもりです。現代に強く影響をもたらすマスメディアが持つ力とその問題を研究することで、歴史的に大きな転換の中にある社会全体を正確に捉えることのできる視野を育てていきたいです。